

「トン」は何の単位

野瀬 隆平

トンといえば、一般的には重さの単位で、1 トンは 1,000kg である。

しかし、重さではなく容積を表わす単位として使われることがある。それは船の大きさを表す時だ。

客船など、スペースの大きさが意味を持つ場合に、その容積を「トン」で表わす。

100 立方フィート（およそ 2.83 立法メートル）を 1 トンと数える。例えば、豪華客船「飛鳥 II」は 50,444 トンである。

ちなみに、何故トンと呼ぶようになったのか。昔、ブドウ酒を樽に入れて船で運ぶ時に、樽がいくつ積まれているか、棒でたたきながら数えた。その音、「トン・トン」に由来すると云われている。

ところで、船の大きさを重さで表示する場合もある。

黒海で沈没したロシアの巡洋艦「モスクワ」は、長さは 186.4m、幅 20.8m であり、12,500 トンであるが、このトンは容積ではなく、船の重さ（排水量）を表わしている。

更に、ややこしいのが、トンが重さの単位として使われていても、船自身の重さではないことがある。いや、むしろその方が多い。20 万トンのタンカーという場合、それは軍艦の様に船の重さではなく、積める荷物の重さ、この場合は原油の重さを表わしているのだ。

客船の場合は、商売として使えるスペースが大きな意味を持つので、容積を表わすトンを、貨物船の場合は、何トンの重さの荷物が運べるかが重要なので、載貨重量を示すトンが使われるのである。

ちなみに、20 万トンのタンカーの自重は、およそ 35,000 トン位である。鉄の塊のような固い物体に思えるが、実はそんなに頑丈なものではない。

350m l の缶ビールと比較してみる。直径 65mm の缶のアルミの厚さは 0.1mm 程度だが、大型のタンカーをこの大きさに縮小して考えると、外側の鋼板の厚さはどの程度になるか。なんと、0.05mm にも満たない「薄さ」で、缶の厚さの半分ほどしかない。

まさにペコペコで簡単に握りつぶせそうなのである。事実、ドックに入れて修理する時には、どこで船の重量を支えるのか、十分に配慮しないと歪んでしまう。